

学校だより

津久戸

平成28年12月1日

12月号

新宿区立津久戸小学校

トナカイよ 迷子になるなと 街灯り

スキー場 素人なのに 山の中

津久戸文集より

いいにほんしょく 「和食の日」

校長 八田 瑞穂

11月24日は「和食の日」でした。日本の自然や歴史から生まれ、私たちが昔から受け継いできた食の文化です。日本人は、その土地でとれる季節ごとの食材「旬のもの」をよく知り、料理に上手に取り入れながら自然の恵みを受けてきました。田舎の裏山に生えてくる筍を煮た若竹煮など思い出します。年中行事と結びついた郷土料理も数多くあります。福岡県のがめ煮や宮城県のずんだ餅などです。ただ、現実には個人がそれぞれ好きなものを食べる個食化や外食が増え食の伝統が受け継がれにくくなっています。

学校では、齋藤栄養教諭を中心に、給食や授業を通じて食文化を伝えようとしています。毎日の給食で「おいしいおたより」を出しています。献立や食材、給食室の作業の様子など日々のことを書いてクラスに配布しています。担任や日直の児童が読み上げています。和食の日の内容は、「今日は和食の日の献立です。さて、食器の配置は正しい位置になっていますか。声をかけられると直せるのに、そのまま食べている人がいます。これは、習慣とも言えます。・・・汁は右、ご飯は左です。これも和食のマナーです。しっかり覚えましょう。」

教室での授業もやっています。6月は3年生に「よくかんで食べよう」、11月は4年生に「豆博士になろう ～大豆君は変身上手～」、さらに6年生に「健康寿命をのばそう作戦～おやつのとりのり方について～」などで、これからも続きます。

学校では、できるだけよく食べるように指導しています。アレルギーなど難しい問題もありますが「食わず嫌い」をなくしたいと思っています。4月当初よりは残菜は減ってはきていますが「嫌いなものは食べなくてよい」というのではなく、なんでもおいしくその食材のよさを感じて食べてほしいのです。ところで、給食で使う出汁は、昆布や鰹節、煮干しなどすべて天然の素材から作ります。食は体だけでなく、日本人の考え方や精神そのものにもつながります。正月を迎えます。お節料理やお雑煮を食べながら「食」を考えてみたらいかがでしょう。

展覧会を終えて

図工専科

11月18、19日の二日間、津久戸小学校の講堂は別の世界になったようでした。1年生から6年生までの図画や工作、5、6年生は家庭科の作品も一人一人のさまざまな発想が色や形で表現された作品が子どもたちの「見てください」と主張しているようでした。

鑑賞の様子を見ていました。

仲良しの友達と指をさしながらのぞき込んで、気付いたことを話しながら笑顔の表情で見てまわる子。一人で黙々とすべての作品を見てまわろうと真剣な表情の子。「これおもしろーい」という声。

普段とは異なる空間となった講堂で、異なる時間を過ごしていました。

子どもたちにとって大人になった時にどのような記憶となって残るのか楽しみです。



主事室から見た子どもたち

用務

「おはようございます」と登校する児童の元気な挨拶で一日が始まります。用務の仕事をしていると、子どもたちのいろいろな表情や成長をみることができず。

春、入学、進級でやや緊張気味。でも一ヵ月後には、運動会へ向けて頑張り切る姿に変わっていきます。

夏、プールが始まると、「今日は、泳げるよ」と言っていて、朝から嬉しそうです。

秋、地面に落ちている色づく葉っぱを見せてくれます。「木によって赤や黄色があるのね」と一緒に観察します。

冬、(今年は、10月に終わりましたが)顔を真っ赤にしながらい生懸命マラソンをしています。自分がどれだけ走ったかを自慢げに報告してくれます。

児童と関わるこういった時間を大切に、日々成長していく姿を見守っていきたくと思います。



【学年の窓から・・・4年生】

1 組担任

校庭の芝生化の工事が始まりました。元気いっぱい体を動かすことが大好きな4年生は少し物足りない様子です。しかし、校内で安全に楽しく休み時間を過ごせるように、工夫をしている姿もたくさん見られます。じっくり読書をする子、係活動の新聞や教室飾りを作る子、トランプ等のカードゲームで遊ぶ子等、自分で考えて行動している姿をみると成長を感じます。校庭工事はしばらく続きますが、講堂での体育や休み時間の屋上遊びなどで体を動かす機会も確保していけるようにしていきたいと考えています。

2学期は遠足や社会科見学と校外学習が続きました。また、日本舞踊体験やブラインドサッカー体験など、普段は経験できないような学習を行う機会も多くありました。2020年のオリンピックで日本に興味をもって来日される方々に、日本の人が大切にしてきた文化やおもてなしの気持ちなどを伝えられるような子どもに育ててほしいと思います。

2 組担任

先日の読み聞かせ集会では、1年生の喜ぶ本はどんな本だろうかと、図書支援員や1年生にインタビューする子もいました。張り切る姿に成長を感じます。また、きょうだい遊びなど、3年生との交流では、進行の仕方や楽しく遊んでもらうために自分たちは何ができると、熱心に話し合っていて準備しています。その後の反省会も、たくさんの意見を交わしてよりよくしていこうと一生懸命です。

国語や総合的な学習の時間では、バリアフリーやユニバーサルデザインなどをテーマに調べ学習を進めています。「点字ブロックがあっても、放置自転車によって歩けなくなっている。」「誰かが特別ではなく、みんなで手助けできることを考えることが大切だ。」と、誰もが暮らしやすくなる工夫はできないかと、自分たちの生活を振り返っていました。

人への思いやりと愛情をもって、人の役に立つことをする喜びを、日々、感じて学ぶ子どもたち。誇りに思います。今は、学校内が多くても、これから先、自分たちの住む町の一人としての活躍も楽しみです。

自覚という芽を大切に育てていきたいと思います。

12月の生活目標

『身の回りの物を大切に使おう』

- ・自分の持ち物の整理整頓をしよう。
- ・教室をきれいにしよう。
- ・学校をきれいにしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



今年も残すところ一か月となりました。

身の回りの物の見直しや整理整頓を行いましょう。

今年一年がんばった自分のためにも、そしてこれからやってくる来年の自分のためにも、この一か月、心地良い片付け時間を過ごしてみてくださいね。Let's clean it up!